

第30回イブニングフォーラム開催のご案内

岩手大学研究支援・産学連携センターと岩手ネットワークシステム(INS)では、地域と本学との交流に資することを目的に、産学官民それぞれの立場の方との意見交換の場として平成13年2月から平成18年2月まで開催しておりましたイブニングフォーラムを復活し、令和3年5月から定期的に開催しております。自由な討論により新時代を切り拓く連携が生まれることを期待しております。

このたび、復活第6回、通算して30回目となるイブニングフォーラムを、農林水産省イノベーション創出強化研究推進事業において「コメ生産の新たな選択肢としての初冬直播き技術の実用化」に取り組まれている岩手大学農学部 下野裕之 教授をお招きして7月4日(月)17時30分から対面とオンラインにより下記のとおり開催します。多数の方の参加をお待ちしております。

記

1. 日時 令和4年7月4日(月)17時30分～18時45分
2. 会場 盛岡市産学官連携研究センター(コラボMIU)1階会議室(岩手大学理工学部敷地内)
〒020-8551 盛岡市上田4丁目3-5

3. 講師及び発表内容等

岩手大学農学部植物生命科学科 作物学研究室 教授 下野裕之 氏
(兼任・次世代アグリイノベーション研究センター・センター長)

「自己紹介とSDGs達成に向けた持続可能な食料生産に関する研究」

【発表概要】地球温暖化にともなう気候変動は、食料生産の不安定化を通じて私たち人類の持続可能性を脅かしている。食料生産の安定化に向けた取り組みの例として、1)稲作の常識を変える新技術：初冬直播き栽培、2)大気中CO₂上昇に適應した育種の国際ネットワーク、などを例とし紹介する。また、兼任している次世代アグリイノベーション研究センターのこれからの展開も紹介する。

【略歴】岩手大学農学部2007年～、日本学術会議連携会員2017年～、オーストラリア国立大学2013年、米国農務省ベルツビル農業研究センター2007年、日本学術振興会特別研究員PD2005年～2006年、独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構・東北農業研究センター・ポスドク2004年、北海道大学学位(農学)取得2003年。

(講師発表30～40分、意見交換40～30分、計70分。会場は19時30分まで利用できますので、名刺交換等にご利用ください)

4. 参加対象者

どなたでも参加できます。参加費無料

5. 開催方法

会場(定員30名)とオンラインによるハイブリット方式

6. 申込方法及び申込締切り

次のいずれかの方法で6月29日(水)までにお申し込みください。

・グーグルフォーム(下記URL又は右記QRコード)

<https://forms.gle/ae9cSXdJcQBRdCWS9>

・①所属、②職、③氏名、④電話番号、⑤メールアドレス、⑥会場参加又はオンライン参加の別を明記の上、メール(ins@iwate-u.ac.jp)又はFAX(019-621-6892)でお申し込みください。会場定員30名ですので、お早めに申し込みください。

7. 主催

岩手ネットワークシステム(INS)、INSいわてコーディネーター研究会、
岩手大学研究支援・産学連携センター

8. 問い合わせ先

INSいわてコーディネーター研究会 小山康文

電話：090-2848-3213

E-mail：ins@iwate-u.ac.jp

9. その他

- ① 当日はマスクの着用と手洗い等の対策をお願いします。また、当日、発熱等の症状がみられる場合は参加をご遠慮ください。
- ② コロナウイルス感染症の状況によっては変更や中止する場合があります。
- ③ 本フォーラム開始直前まで、同会場においてINS企画委員会が予定されています。

